



発行所 学校法人 聖隷学園 浜松市三方原 3453 Tel.(0534)36-5311 郵便番号 433 発行所 長谷川 了

聖句

あなたがたは先生と呼ばれてはならない。あなたがたの先生は、ただひとりであって、あなたがたはみな兄弟なのだ。(マタイ三・八一)

我らは神と良心以外、何ものをも怖れず

理事長 長谷川 保

政治の重大性は今更言うまでもないことであるが、近年生活が豊かになるにつれて、青年達は遊び呆けてしまい、一握りの政治指導者の意志によって、人類滅亡の戦争さえ起こりうる危機を阻止しようとする。 今回の参議院選挙を見ても、金権政治の標本のような田中軍閥によって、日本の政治が左右され、まるで昔の平氏に非ずば人に非ずの再現のようになり、自民党の比例代表区で当選した二十余名の内、十二名が田中派で占められ



長谷川理事長

理想社会の実現求めて 参議院選に名乗り

私には、今回の参議院選挙に当り、新自由クラブからの強い要請により、比例代表区の名乗りとして立候補することを私からの条件として立候補し、この新自由クラブは、自民党の金権殖産に憤激して脱党した良心分子であり、又同じく社会党の労働組合エゴ連合に脱党を要請して、全国民、全人類の政治を求め脱党して社会民主連合を組織した革新的良心政治家の集団であった。この聖隷日本政界の良心とも言うべき政治界隈を苦勞して再建発展せしめた大功臣の老人達は、まるで社会の迷惑者のような風潮を来させ、非行青少年は急増している。

充実した福祉・教育 医療の実現を

五十一年前、軍部の圧力に屈して政治界隈が口をつぐんで終った時に、遂に太平洋戦争となり、我等の国は亡国状態にまで追いやられた。今や世界は人類滅亡の危機に直面し、国内的にも独裁的角形政治体制が実現せんとしている。徴

「神よ私の杯は溢れます」

長谷川 保著 神よ私の杯は溢れます。神の召命に生き抜きたいと思う。 召命に生き抜きたいと思う。 召命に生き抜きたいと思う。

右は私自身が教育の現場のなかで体験したこと、反省である。六才から十七年間、生徒、学生として教育を受けた側の経験、二十五才から今に至るまで教師の経験、下敷にその感想、教師と生徒・学生との間に、人格的・人間的な共感・対応が切れたことである。知識の

結ばれた一巻を開いて、その重みを感じる。思ふのである。息女達さんが天に帰って毎日にしこの書が世に出たのである。(西村マサ)

聖隷保養農園同窓会開催 一三〇年前の聖隷の人々を 迎えて

保養農園から 福祉事業集団へ

聖隷福祉事業(集)団は、昭和二十七年頃まで聖隷保養農園と称した。近隣の人々は略して農園と呼んだ。この頃の三方原聖隷は、松たけやしめじりのキノコのとれた緑の松林、見え隠れしつつ周囲に潤和した小さな療養小屋、豊富な冷たい湧き水に貼がのぼり、八つ目うなぎが生き生き、子供も大人も泳いだ大谷川等の豊かな自然に囲まれていた。この頃、すべての大

専務理事 長谷川 了



勢揃いした聖隷一世二世(1)

人達は結核療養所の役割を分担して朝早くから夜遅くまで働いていた。食事は共同炊事場の大きな鍋で煮つけられ、子供達は鍋と木製の鉢を食卓に持ち寄り子供達だけで食事をすることが多かった。当時の聖隷の人々は文字通り一つの釜の飯を食べて同じ献立であった。医師等の特殊な技術者を除き職員は無給料で働いていた。各家庭は親戚以上の関係であり、そこに育つ子供達は兄弟同様の結びつきが

聖隷二世へと 望みを託して

五月一日に長谷川力聖理事長兼副理事長が実行委員長となつて聖隷保養農園同窓会が開催された。尊敬する多くの先輩方と当時の子供達が参加した。懐かしも楽しい時を持った。当時40才の働き盛りだっ



勢揃いした聖隷一世二世(2)

ほとんどの職員は施設外に住まわねばならぬ生活をしていた。このような生活から昔の聖隷共同体を想像することは難かしい。しかしながら、今日の聖隷を見るときに、城を支える石垣や土台石のように無給料で朝早くから夜遅くまで働き、聖隷を支えつづけた多くの人があつたことを知っていたのだ。

た人々は既に七〇才となつて多くの人には既に勇退していた。また幾人かは天に召されている。聖隷二世に多くの期待がかけられていることを互いに自覚した。

長谷川 保著 聖隷二世へと望みを託して。五月一日に長谷川力聖理事長兼副理事長が実行委員長となつて聖隷保養農園同窓会が開催された。尊敬する多くの先輩方と当時の子供達が参加した。懐かしも楽しい時を持った。当時40才の働き盛りだっ

聖隷短大開設に向け準備完成！ 彦根 聖隷学園聖隷短期大学設立準備室 〇七四九二一三一九六〇〇



完成した聖隷短大設立準備室

高校近況

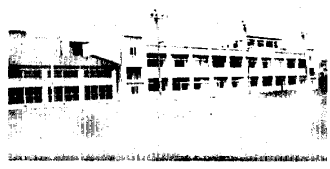
高校校舎増築に伴い、校長室が管理棟より高校旧棟へ移動しました。更に職員室の内装も手が加えられ、クリーム色の明るい雰囲気の中で、先生方が仕事に励んでいます。

神と皆様方の御協力に感謝して

校長 松本 伸吉

「昨年九月は新武道場の建設、テニスコート五面の建設、グラウンドの拡張整備が始まりました。そして新校舎建設とついでに新校舎の建築が完了しました。この間に、校舎の建築費が、一応満足すべき教育環境が与えられるまで、努力をいたしました。今後、環境整備の充実を図るべく、引き続き教育内容の充実を図ってまいります。」

木造建物(旧武道場)1棟から 高校校舎増築の歩み



新設の武道場(左)と増築棟(右)

「昨年九月は新武道場の建設、テニスコート五面の建設、グラウンドの拡張整備が始まりました。そして新校舎建設とついでに新校舎の建築が完了しました。この間に、校舎の建築費が、一応満足すべき教育環境が与えられるまで、努力をいたしました。今後、環境整備の充実を図るべく、引き続き教育内容の充実を図ってまいります。」

さける献堂の特別礼拝を守っておられます。財力の乏しい私学が施設を充実していくには、血の出るような苦労をしないとできません。力もなく、評価も定まらない創設において、特にそうです。国立公立学校が税金で施設の全部を作っていくとは違い、私学では父母のみならず、後援会のみならず、卒業生や理事会のみなさん、又先生やその他の方々の願いや祈りがあり、協力があってこそ、ようやく一つの施設が与えられます。私学の多くは、たとえ今は大を成している私学でも、創立当初は小さな貧弱な施設から始まっています。本校の始まりもそうでした。本校の前身である遠州キリスト学園が昭和二十一年に設立された時、旧陸軍の兵舎を払い下げたものでした。木造の建物(旧武道場)一枚があるだけで、しかし建物は貧弱でも、何はなくても、ここで学ぶ者の精神は高く、向学の志に燃えておりました。このことが多くの人々の共感と協力を得て

少しづつ施設が整ってきたのです。ですからどの建物も、古びてしまつた施設も、多くの人々の熱い折り込みと願いがこもっています。いままた新しい校舎が与えられて、学校はほとんどが完備した立派な施設、設備をもつようになりました。このように完備した教育環境の中で、創立当初の向学心に燃えていた人々に勉強してもらいたかたかとつくづく思うのです。そうすれば彼らはほんのりなにかが学問が進んだことだろうと思います。もちろんそれはできないことです。できないのであれば、その分だけ、こんな立派な校舎を与えられた私たちが感謝して、全力をあげて勉強し、心身を鍛え、しっかりした人間になる努力をしなければなりません。本日ここに、新校舎建設にあつた多大の協力を承りてくださった方々や、工事関係者に来ていただいた方々に、私たちがのちにこのような立派な校舎を用意して下さったみなさんに心からお礼を申し上げます。また私たちの思いや願いをはるかに超えて、もっともよいものをくださった皆さまに感謝の思いをさげます。創立当初から今に至るまで、

キヤマス教育委員会より 決議案送られる

姉妹校活動評価に
基づく決議案(抜粋)

今年度キヤマス生
来日スケジュール

- 8月1日 成田君、東京泊
- 2日 東京見学、浜松泊
- 3日 聖隷見学、歓迎パーティ
- 4日 産業研修(白楽、本田)
- 5日 生徒間交流
- 6日 プレゼンテーション
- 7日 フリートイム
- 8日 浜名湖めぐり
- 9日 細江町デパート(史蹟研修)
- 10日 産業研修(手工芸、伝統産業)
- 11・12・13日 京都旅行
- 14日 フリートイム
- 15日 さよならパーティ
- 16日 帰国

「昨日の夜、ファミリーでは、準備してきた出物の披露、練習不足がたつたけど、高倉先輩のすばらしいピアノでパーティは最高に盛り上がりがあった。5日の小旅行の昼食後の、キヤマスの校長先生提案のゲームは、とても楽しかった。みんな童心に帰ったように芝生の上を走り回って、普段学校でな事をしない姿も見えた。6日の夜は泣いても笑ってもサヨナラパーティ、これが最後のパーティだった。」

キヤマス研修記 言葉を越えて

21HR 島山 昌子

「昨日の夜、ファミリーでは、準備してきた出物の披露、練習不足がたつたけど、高倉先輩のすばらしいピアノでパーティは最高に盛り上がりがあった。5日の小旅行の昼食後の、キヤマスの校長先生提案のゲームは、とても楽しかった。みんな童心に帰ったように芝生の上を走り回って、普段学校でな事をしない姿も見えた。6日の夜は泣いても笑ってもサヨナラパーティ、これが最後のパーティだった。」

新任紹介

丸山キシ先生 (数学)

長女がすてきな教師というトシになって、私が、聖隷高校に、昭和五十一年にはじめてお世話になり、非常勤講師として七年、そして今年が八年目です。皆さんにとっては新鮮味のない、新任です。私が、私自身としては大に、とにかか夢中でやってきました。私には、私自身の出身で、高校は県

お願ひします

よろしく

は数学を通しての一面しかわからなかつたのですが、担任をもち、特に生徒指導部の一員ということ、健康が少し心配ですが、がんばるつもりです。よろしく。

安藤博光先生 (聖書・英語)

聖隷高校に、一月一日より、教諭として勤務させていただきます。早いもので半年以上が経ちました。とにかか夢中でやってきました。私には、私自身の出身で、高校は県

立字部宮高校に通いました。

古い伝統を持った男子校で、野球、ラグビー、サッカーなどスポーツが盛んな学校でした。今でも未熟なところの多い私ですが、皆様の指導を宜しくお願いいたします。

沢田栄子先生 (理科)

に就職して二カ月が過ぎ、理念や理想あるいは論理といったものと現実の隔たりは、学生時代を遠くに押しやり、現在、重味のあるものに変わりました。

姉妹校活動評価に 基づく決議案(抜粋)

今年度キヤマス生
来日スケジュール

- 8月1日 成田君、東京泊
- 2日 東京見学、浜松泊
- 3日 聖隷見学、歓迎パーティ
- 4日 産業研修(白楽、本田)
- 5日 生徒間交流
- 6日 プレゼンテーション
- 7日 フリートイム
- 8日 浜名湖めぐり
- 9日 細江町デパート(史蹟研修)
- 10日 産業研修(手工芸、伝統産業)
- 11・12・13日 京都旅行
- 14日 フリートイム
- 15日 さよならパーティ
- 16日 帰国

行事紹介

- 4・7 始業式
- 8 入学式 ※入学人数 9121名、女 188名
- 4・9 対面式・増築校舎献堂式
- 11 開校記念日
- 5・2 憲法講話
- 4 遠足
- 21 父母の会総会
- 28・31 中間テスト
- 6・11 キリスト教育週間
- 7・11・13 期末テスト
- 14・15 球技大会
- 18 献血
- 20 終業礼拝
- 21・23 ワークキャンプ
- 21・24 アジア学院ワークキャンプ
- 8・1・16 キヤマスハイスクール生来園(第二回)
- 7・21・8・31 夏休み
- 9・1 始業礼拝
- ※6・10・8月末まで、キヤマスハイスクールのカーポート・ホールライターの国際コース(短期留学)

新入生授業風景

キヤマスハイスクール生と ホストファミリーと

聖高祭バザー会場 第一回聖高祭受付風景

キリスト教教育週間

林 富美子先生講演

短大・専攻科・ヘルパー

聖隷短大の教育を考える(2) 現実と目標

教授 八田亨二

学生に欠く 応用力

福井 えないものや、神といった存在
達雨先 を感じることが出来ないの
生が昨 やがては人類が傲慢になり
年十月 聖隷高
校でな 見えないものを大切にし、神を畏
れる気持ちを育てて欲しいと思っ
講演の とありました。またキヤマスに留
中で、 学した尾城君は、「クラスは二十
御次男 人以下であり、先生と生徒との対
話がとても多く、先生と生徒との
一体となって授業を進めている」
と前号に報告してあります。

これからの学校の教育に素直さ
に驚き、日本の結核教育の質しさ
率直に 評価を 評価を
に驚き、お互いに暗い気持ちにな
この頃であります。そして看護短
大のカリキュラムには、学生の理
解力を無視して、暗記を強いる事
然の世 界に連
れて行 います。授業
ても
感動し
ない。
目に見

この頃のい成績をとつたらし
で、多勢の生徒を相手にする先生
方には、一番世話のやけない階層
だったと思います。失礼ながら、
あまり基礎的思考を受けず、機
会も得ることなく、大卒で来て
しまったという状況に日々出会
います。

ある学生が素直に悔しがった
「だって先生、私達は勉強とい
うのは暗記することだと思っ
ています」
と。
応用力を育てるべき看護教育に
可能性の希望はないということ
でしょうか。私達は有りといわね
ばなりません。本学には多人数教
育の困難も少なくありませんが、
来た手件も少なくありません。

本学には「ヘルホーム」以外の
隣人愛の実践と、聖書からの源
泉を探索して、そのように生か
て来た歴史があることを忘れ
てはいけません。これは学び取
て継承すべきです。

学則第一条の教育目的はこれ
さらには今年度設定された「教
育目標」は、第一条と日常の教育
活動とのつながりにより具体化
されています。それは昨年度の教
修会の提案をうけて、一年近く
検討の結果出来上りました。

その、病名、死ぬべき弱い存在
であることを共有して
たいと前提として授業を進める
幸いに、当短大の学生達は

5月9日~5月14日 ナイチンゲール祭開催

**真壁先生
特別講演
より**

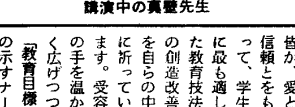
人間の本性を
メルヘンの世界
に探りながら
美しく生きる
とを語りかけ
ナイチンゲ
の生涯に新
視点を与えて
れた講演であ
た。

美しく楽しく
生きて、それは
高い目標をか
けて、一杯努
力すること、
その中で自分
の求め続けて
きたものに苦
しみを感じ、
それらを引き
最後引用され
た。

りながら尚、真剣に生きることが
自己実現につながる。そしてそれ
は他人にどう見られるかではなく
神の前にどう映るか、ここにナイ
チンゲールの生涯の命題があった。
絶えず自己を掘り下げ見つけるこ
とによって、みじめな価値のない
自分を知り尽くし、真剣に生きる
まきている時に使命感は与えられ
ものである。

カイザースヴェルト学園を創設
したフリードナーは初期の看護の
歴史をつくり、その流れは今も
で続いている。その契機は妻フリー
デリケの働きに女性の資質を見出
たことにある。ここを訪れた
ナイチンゲールは、ディアーナ
のセの中に自分の求め続けてきた
強い感動を感じたのである。
最後に引用された。はれおぼ

人、人間理解と愛と感謝の基本で
あつて、それが看護の源泉である。
と述べています。これは長年にわ
る教育に携わって来た先生方の経
験に裏打ちされた言葉であります。
学生は、自覚を働かし、支え
る看護の学びへ導く教育の基礎
は、教師である我々が、先ずこの
隣人愛に深く立つようにならな
いようである。日本は閉鎖的で
来られた別別教育を行って来
た。戦前、戦後を通じて残念な
がら、戦前、戦後を通じて残念な
がら、戦前、戦後を通じて残念な



講演中の真壁先生

新任紹介

宮崎昌子 先生
（絵論研究室）

新しい高橋の早さにおどろく日々
を過ごしています。この短大に
来、今までは新幹線に寄り
つ、ようやく忘れていた感謝する気
を再び味わい幸せに思っています。
今までの看護の原点を顧みることが
少なかった私にとって、とても勉
強になった毎日です。自身自身を見
つめ直すとともに、0からか
りたかと思っています。

泉 彩子 先生
（小児研究室）

今までは、子どもだけを相手に働
いていたためか、精神年齢がステ
ップし、4月着任以来、たびたび
学生に間違えられました。「また
か」と思う反面、内心喜んでいま
素直です。
素直です。
素直です。

永瀬てし 先生
（専攻科）

科病棟で十七年
お世話になり私の務めももう終
であると思つて居りました。が
この度、分娩室実習の指導をい
うお話を受けることになりました。
勉強不足の私で自信がありません
が、学生と共に勉強しながら、努
力をして行きたいと思つて居しま
す。

学園生活三年間も無事終り、点より、看護というものを探究
新に社会人という世界へ足を
踏み入れ、学生気分が抜けき
つまでも初心を忘れぬことが
ない四月より、私は重なり身
害施設におおりの家にて、楽
生まねがらにして身体的、
精神的にハンディを背負って生
ていきます。現在、私は看護士と
して園児に接し、看護上最も堪
本的な食事、排泄
などの生活指導に
あたっています。

卒業生より一言
鈴木 良成

最も重要な
社会に出て今

得るべきは、看護の本質、技と「生きがい」というものを園
術の習得は、社会に出るに
ば身につくものと考えています。
今、園児にとって何が重要であ
た。しかし、自分が社会に出て
十分な力を発揮するには、学生
活ができるかは、私たちの考え
時代に基本的な看護の本質、技
術は完全にしておく必要がある
と感じました。また、あらゆる
が見えなくてはならない



おそらの家で

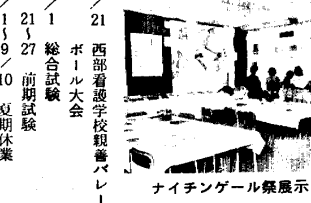
学生行事紹介

〈短大〉

- 4/1 在校生ガイダンス
- 2 入学式 ※入学人数
（1科17名・2科23名）
- 4 前期始業
- 4/6 新生活ガイダンス
- 20 開学記念日
- 22 国家試験発表 ※合格者
- 5/9/14 ナイチンゲール週間

〈専攻科〉

- 4/2 入学式 ※入学人数16名
- 4 前期始業
- 4/6 新生活ガイダンス
- 20 開学記念日
- 22 国家試験発表 ※合格者
12名
- 5/9/14 ナイチンゲール週間
- 7/18/16 夏期休業
- 4/1 入学式
- 1-2 泊研修（浜北市の
県立林業青年の家）



ナイチンゲール祭展示コーナー



入学式で挨拶する津久井学園長



浜北での研修風景

学生相談室案内

お気遣い下さい!!
・相談時間 月・金
九時～一七時三十分
・場所 聖隷学園浜松衛生短期
大学2F学生相談室
・担当 松本早、浅田くに、
藤田久子
・下宿生活で困った時、淋しい
時、学校に来たくなかった時、
どうしたらよいかわからない時
等、訪ねて下さい。

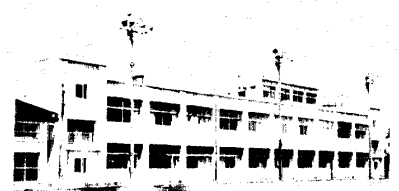


施設の充実 進む 環境の改善

学園の現況

高校校舎増築成る

昨年度の武蔵野・テニスコートの新設に引き続き、学園将来計画の一環としての施設・備品の充実が着々と進められてきました。まず、高校生増員に伴って高校校舎が増築され、昨年九月十五日に着工、今年三月三十一日に完成しました。総面積一、九五〇坪の新築校舎は、二階建て十教室を持つ広々とした校舎で、現在14、17、31、35HRがここで勉学に



完成した増築校舎

グラウンド拡張に伴う 陶芸教室の移動

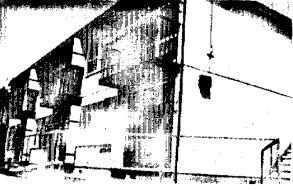
グラウンドも従来の六、七、七五、六〇、三〇、三〇と拡張され、ネット、照明灯、殺虫器等が整い、三月末に完成しました。拡張に伴い、旧レハブ寮、陶芸教室等が取り払われ、陶芸教室は去年月に体育館、礼拝堂裏側に移動が完了。グラウンド側には、新しくサッカー部、陸上部教室、労働小屋、体育器具室が建てられ



グラウンドより体育器具室・クラブ室を望む



吹付工事が完成した管理棟正面



完成した教職員住宅

正面外壁吹付工事 自転車置き場の充実

今年に入って、管理棟正面外壁、及び中庭側外壁の吹付工事が実施され、五月初めに完了しました。塗り替えは昭和四十四年以後のこと



職員駐車場整備風景



短大棟北側自転車置き場

に加えて、学園テニスコート南側駐車場、旧テニスコート内と拡張され、職員居住施設としては、み

昭和57年度 消費収支決算書			昭和58年度 消費収支決算書			昭和59年度 消費収支決算書		
自昭和57年4月1日 至昭和58年3月31日			自昭和58年4月1日 至昭和59年3月31日			自昭和59年4月1日 至昭和60年3月31日		
消費支出	消費収入	計	消費支出	消費収入	計	消費支出	消費収入	計
人件費 265,625	学生納付金 228,957	392,747	人件費 278,103	学生納付金 228,957	507,060	人件費 265,625	学生納付金 228,957	494,582
教育研究費 49,105	手数料 8,961	58,066	教育研究費 49,105	手数料 8,961	58,066	教育研究費 49,105	手数料 8,961	58,066
管理経費 9,485	寄付金 16,687	26,172	管理経費 9,485	寄付金 16,687	26,172	管理経費 9,485	寄付金 16,687	26,172
借入金 8,360	補助金 121,107	129,467	借入金 8,360	補助金 121,107	129,467	借入金 8,360	補助金 121,107	129,467
法人人 151	雑収入 2,518	2,669	法人人 151	雑収入 2,518	2,669	法人人 151	雑収入 2,518	2,669
資産処分 7,722	雑収入 2,518	10,240	資産処分 7,722	雑収入 2,518	10,240	資産処分 7,722	雑収入 2,518	10,240
資産増 6,938	雑収入 2,518	9,456	資産増 6,938	雑収入 2,518	9,456	資産増 6,938	雑収入 2,518	9,456
消費支出計 347,386	消費収入計 367,829	715,215	消費支出計 347,386	消費収入計 367,829	715,215	消費支出計 347,386	消費収入計 367,829	715,215
消費収支差 20,443		20,443	消費収支差 20,443		20,443	消費収支差 20,443		20,443
施設・設備 15,602		15,602	施設・設備 15,602		15,602	施設・設備 15,602		15,602

学園の歴史

長谷川理事長の息女澄さんは今年三月十日朝、安らかに眠っている様に通じた。地上の生を戦い通じた。静かさをたたえた顔をして、澄さんは長谷川家の次女として生まれ、五人の弟と三人の妹の姉として育った。それがこの家の子供が別がつかない。緑な聖隷保嬰園時代の貧しい中で生い立った。戦後の混乱期を中学生として過ごし、昭和二十四年春卒業している。遠州キリスト

長谷川澄さんのこと

前校長 西村 ミサ
園の生活は前述した通り、冬は暖かい。五時から六時の朝の行事に、我先にとふんわりと寝て、走り出す彼女の姿は、今も思い出して見ると、二年前を彷彿とさせる。澄さんは、二年を経て学園は準備運動会が所になった。再び澄さんは選抜の前に立った。そして看護婦の道を選んだ。父上の拓く道に自ら身をまかせ、しよとすかのように、間もなく健康を書きしめて、手に受ける。この時に澄さんは病弱と戦って、

園の歴史

生きていること。看護婦に耐える健康を失った澄さんは、女子聖院高等女学校に入学した。ただし高校は受けて、北高に合格した。まだ誰も高校に入れる様な時代ではなかった。皆と共に園の子供としての道を歩きた。父上の拓く道に自ら身をまかせ、しよとすかのように、間もなく健康を書きしめて、手に受ける。この時に澄さんは病弱と戦って、

職員行事

- 3/26 理事・評議員会
- 3/28 学園教職員歓迎会
- 4/9 増築校舎献堂式
- 5/26 永年勤続表彰式
- 8/30 理事・評議員会
- 8/27 学園教職員研修会
- 3/26 理事・評議員会
- 3/28 学園教職員歓迎会
- 4/9 増築校舎献堂式
- 5/26 永年勤続表彰式
- 8/30 理事・評議員会
- 8/27 学園教職員研修会

教職員人事

- 退職 (短大)
 - 3/31 富永万紀子 小児研究室
 - 3/31 松元せつ子 総務研究室
 - 北川貞理子 専攻科
 - 山崎すみ江 専攻科
- 就職 (高専)
 - 3/31 鈴木美吉 経営事務部
 - (引き続き準備職員として勤務)
- 異動 (短大)
 - 4/1 丸山キン 数学担当
 - 4/1 永瀬てし 専攻科
 - 宮崎昌子 総務研究室
- 昇格 (短大)
 - 4/1 影山雅子 総務研究室
 - 兼名きえ 成人研究室
- 学長改選結果 (短大)
 - 4/1 長谷川保 (再選)
- 理事・評議員改選結果 (3)
 - (理事) 長谷川保・松本伸吉・長谷川柴田敏子・浅井昭裕・中山耕作
 - (評議員) 西村一之・原 義雄・佐々木ノブ・廣内健吉
- (評議員)
 - 長谷川保・松本伸吉 浅井昭裕
 - 清水孝俊・柴田敏子 山口国一
 - 吉田 潤・松井 恵 上野桂子
 - 杉本民・牧野すみ江 花崎一夫
 - 佐藤 龍・森下敏雄 長谷川川
 - 中山耕作・西村一之 長谷川力
 - 清水二郎・猪俣和仁 西村ミサ

※敬称等、略させていただきます